

令和7年度SDGs未来都市等成果報告会（10.31開催）

デジタル地域通貨を活用した地域活性化

岡山県真庭市（2024年度地方創生SDGs課題解決モデル都市選定）



● 地域の特徴（取組を発想した背景）

- ・デジタル地域通貨『まにこいん』(令和5年1月にリリース)
- ・真庭市の人団約40,000人に対して、アプリの利用者数は半数以上が利用
- ・決済機能以外の新たな活用方法の追求と、それを活用した持続可能な地域づくり推進の取組として専門家招聘により2事業を実施。

【ロゴ】



【イメージ】



【単位】

まにい

1まにい = 1円



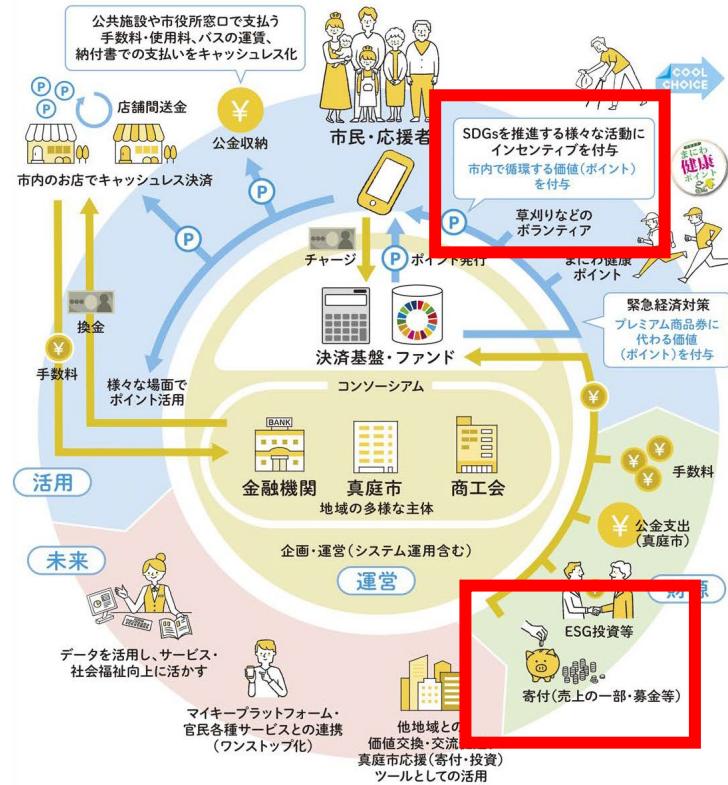
● 取組の内容と成果

【取組の内容】

- ①デジタル地域通貨アプリを機能強化した、地域コミュニティの活性化（ボランティアポイントの実証）
- ②地域通貨旅先納税機能による関係人口創出（現地決済型ふるさと納税機能の実装）

【成果】

- ・スーパーアプリ「まにあぶり」機能のアップデート、真庭市のポータルアプリとしての活用開始。
- ・市民の生活により密着したポイント循環の機能と関係人口も市の取組に参加できる仕組みを実装。
- ・市内循環、市民活動へのインセンティブなど、様々な可能性を広げることができた。



● 困難やつまずきなど苦労したこと及びそれをどのように克服したか

【困難やつまずき、苦労したこと】

- ・現地決済型ふるさと納税によりポイント発行され、そのポイントを市内店舗等で支払により利用できる仕組みだが、店内の商品で対象となるものとそうでないものが混在している。
- ・店内商品一律の導入が難しく、利用者にとってわかりにくい。

【どのように克服したか】

- ・事業者へ直接訪問し、事業説明
- ・エリアを絞って検討をすすめ、試験的に実装
- ・対象商品にはステッカー表示



米子自動車道 蒜山高原サービスエリア上り線
現地決済型ふるさと納税「まにこいんふるさとポイント」
オープニングセレモニー

● 推進体制（ヒト・カネ・モノ）の整備方法

【事業費用】

業務委託 9, 960, 000円

専門家派遣 80日

- ・府内相談に対応
- ・事業者訪問し、丁寧な説明

● 庁内調整・外部調整の工夫

- ・まにこいんの認知度向上のため、庁内向け電子掲示板で日々の利用者数や流通量等を共有
- ・各課からの相談に個別対応、伴走支援（ボランティアポイント（高齢者支援課）、ふるさと納税（地域みらい推進課））
- ・事業者へ直接訪問し、事業について丁寧な説明
- ・推進協議会を開催し、意見交換により事業推進

● SDGsの視点と政策をどのように結びつけたか

『まにこいん』のコンセプト

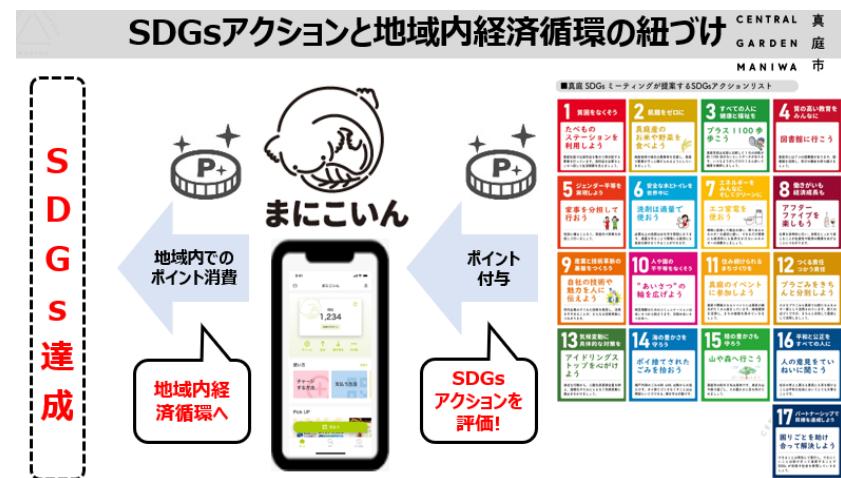
今よりちょっと便利で、使う人にもお店にもやさしく、使えば使うほど地域も元気になる

SDGsの視点

「誰一人取り残さない」社会の実現を掲げ、地域に根ざしたデジタル化を推進。
持続可能な地域経済の構築を目指し、地域資源の循環を重視。

SDGs・政策との関連性

- ・地域内の消費を促し、外部流出を防ぐ「富の封じ込め」による地域経済循環を支えるツール
- ・市民の参加（ボランティア、地域活動、消費）を促し、地域の“共助”や“つながり”をデジタルに可視化する仕組み
- ・高齢者やデジタル機器に不慣れな市民にも配慮した支援体制と連携しており、“誰一人取り残さない”社会を目指すという観点にも合致



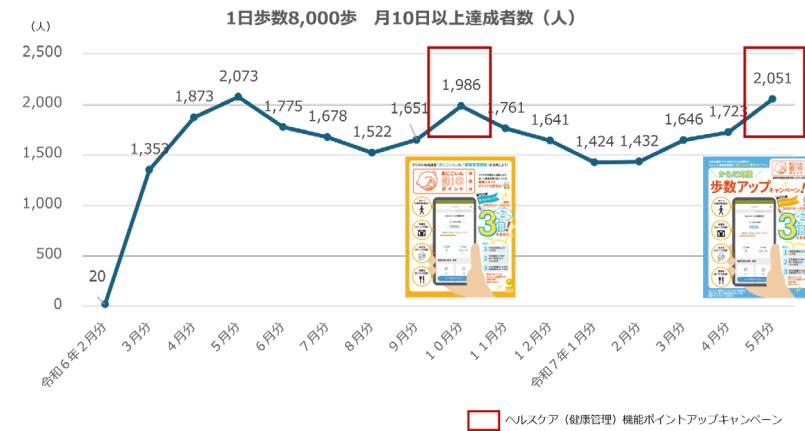
● SDGsの取組を推進して良かったこと・周囲の反応など

●まにこいん・まにあぶりの導入により、よかつたこと

- ・デジタル社会における「誰一人取り残さない」地域 d X
- ・健康意識の向上
- ・スーパーAPL化により、生活に密着したアプリへと進化

【10月20日実績】
人口比
66.10%

ユーザー数 **26,491人**
ヘルスケア登録者数 **14,847人**
加盟店数 **269**
総流通量 **538,528千円**



●当事業に関して

- ・職員にはない知識により、他課の職員への認知度の向上

●今後の展望・他地域への展開

- ・市が行うサステナブルな取組によるポイント発行に限らず、市民同士で様々な取り組みにおいてインセンティブ（ポイント発行）できる仕組みの活用した活動ができるよう普及啓発に努めたい。
- ・旅先納税機能により、即時にふるさと納税によるポイント発行が可能になることから、“コト消費”しやすい環境（ポイントを利用できる施設を増やす）を整えていく。
- ・クラウドファンディング機能による「共助の仕組み」としての活用を検討する。
(※クラウドファンディング等市民が寄付を募る仕組みについては、各種法律に関する事項でもあることから、引き続き研究する。)
- ・市民の利便性向上のため、機能追加を目指す。

● その他

真庭とあなたを、まるくつなぐ、まにあぶり。
まにあぶりを開けば真庭が見える。真庭がひろがる。

